

新たなポップアップショップの出店

本県では、シンガポール随一の繁華街であるオーチャードロードに位置する日系百貨店「高島屋」において、海外アンテナショップを設置し、本県の特徴ある食品や工芸品といった県産品のテストマーケティングを行っております。本事業は 6 年目を迎え、徐々に現地消費者の認知度も高まっており、また、この取り組みについて高島屋側からもご評価いただいていることから、今回、百貨店内で期間限定ブース設置の打診をいただきました。

高島屋は、消費需要の高まる秋ごろから、食品売場や飲食店等が立ち並ぶ地下 2 階の中央に位置する巨大な催事スペースのそばに、新たに販売ブースを設けており、今回、その中の一区画で、12 月上旬から 3 月上旬までの期間限定で、新たに県産品の販売ブースを設置しております。

こちらのブースでは、「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産に登録に合わせコンセプトを絞り込み、これまでのアンテナショップでの販売や、関連する催事等で非常に人気が高い日本酒と、日本酒とセットでの購入が期待できる伝統的工芸品の酒器を中心とした商品構成にいたしました。

12 月はちょうどクリスマスのギフト需要もあり、桐箱などの化粧箱に入った高価格帯のお酒がよく売れたほか、酒器については金箔を使った見た目の華やかな商品が人気を集めるなど、売り上げは好調となっています。

1 月の下旬からの旧正月需要も取り込み、アンテナショップと日本酒ブースの 2 拠点で、しっかりと現地消費者に対し、県産品を PR していきたいと思えます。



ポップアップショップの外観

■金沢商業高校のシンガポール研修

12 月の上旬に、金沢商業高校の学生 13 名が、昨年度に引き続き海外研修のため来星しました。金沢商業高校は、以前から、グローバルに活躍する人材を育成するため、シンガポールの国立高等専門学校の 1 つであるテマセクポリテクニクと交流を行っております。今回の研修においても、テマセクポリテクニクの学生のガイドによるシンガポール国内の主要施設訪問や、同校でのプレゼンテーション、同校の国際交流施設（Glocal Connect Village）への宿泊等を通じて、交流を深めました。

テマセクポリテクニクの学生は、このような交流の機会があることで、石川県に対してとても興味を持ってくれており、過去に交流した同校の卒業生の中には、旅行で頻繁に石川県を訪れたり、金沢商業高校の先生のご自宅に長期間ホームステイしたりする方もいらっしゃるそうです。金沢商業高校の学生が研修を通じて、自身の知見を広げるだけでなく、石川県のすばらしさも伝えてくださることを、大変うれしく思いました。

このほか、シンガポールに進出する日系企業などへの訪問も行い、当事務所でアテンドさせていただきました。金沢商業高校では観光人材の育成にも力を入れており、今回は、政府目標である「インバウンド 6000 万人」の達成という点も、研修テーマの一つとしていたため、特に日系旅行代理店に伺った際に、「どのようなプロセスでツアーが作られるのか？」「富裕層はどんなサービスを求めるのか？」など、積極的に質問している姿が印象的でした。

研修に参加された学生のみなさんには、ぜひ今回の経験を生かし、将来グローバルな人材として羽ばたいて欲しいと思います。



企業訪問の様子

■シンガポール石川県人会の開催

昨年の 12 月 17 日に、シンガポール石川県人会の懇親会を、石川県産食材や日本酒を扱っていただいている和食レストランで開催いたしました。今回は 18 名の方にご参加いただきましたが、初参加の方もいらっしゃれば、数年ぶりに参加された方もいらっしゃり、前回（昨年 2 月）に開催した時とはまた違ったメンバーで親睦を深めることができました。私自身も、同郷の方々が、様々な分野においてここシンガポールでご活躍されている話を伺い、大変刺激になりました。今後も石川県人会の皆さんとともに、シンガポールで石川県を盛り上げていきたいと思います。



県人会の集合写真